



令和7年11月2日(日) 09:30-11:00

第3会場

<テーマ>

NGSを活用する施設の最前線：

バイオインフォマティクス技術者認定と解析ツール

<ねらい>

本企画では、次世代シーケンス（NGS）を実際に活用している施設の最前線の取り組みを紹介する。バイオインフォマティクス技術者認定制度の概要、解析体制の構築と維持、臨床現場における運用上の課題、さらに専門知識がなくても扱いやすいGUIベースの変異アノテーションツールの活用例について、具体的な事例を通して示す。NGSを日常的に活用する施設で、どのような人材が関与し、どのような支援体制やツールが必要とされているのかを可視化することで、ゲノム医療におけるバイオインフォマティクスの役割と実践の現状を多角的に伝えることを目的とする。

司会 西尾 美帆（松阪市民病院 中央検査室 / がんゲノム解析室）

中山 章文（岐阜医療科学大学 保健科学部臨床検査学科）

<講演内容>

1. バイオインフォマティクス技術者認定について

演者：中村 麻姫（三重大学医学部附属病院 検査部）

2. 自施設でのNGSの活用について

演者：西尾 美帆（松阪市民病院 中央検査室 / がんゲノム解析室）

3. 当院における次世代シーケンシングの運用と課題

演者：澤田 清矢（社会医療法人厚生会 中部国際医療センター

中部がんゲノム医療研究センター）

4. GUIベースの変異アノテーションツール

演者：石倉 隆（ライフテクノロジーズジャパン株式会社 テクニカルサポート）